

会長

## 久保 義誓

(茨木RC)

去る7月23～26日、第2660地区茨木RCは50周年記念事業として、インドネシアの3ヶ所において（ジャカルタ、ジョグジャカルタ、バリ）、恵まれない子どもたちを対象に「愛と希望」をテーマにコンサートを実施しました。合計1,000名を超える子どもたち、約450人のロータリアン・現地ローターアクトメンバーとともに有意義な一時を過ごすことができました。

今回、唄っていただいた森祐理さんは平素から「愛と希望」を人々の心に伝えることを生業とされ、全国の施設等を回っておられます。ご自身も、神戸の震災で弟さんを亡くされましたが、そんなお話を子供たちの前でされた時には、涙をこらえている子どもたちもたくさんいました。

「ドラえもののポケットの中にあなたの一番欲しいものが入っているとすれば、それはなあに？」と森祐理さんが孤児院の子どもに尋ねた時、ある子どもは「お父さん。」と答えました。その時、会場が一瞬しーんとなり、我々一同はそこに居合わせた方々と、「全ての人の幸せ」を願う気持ちで心が一つになりました。また、様々な境遇にある子どもたちの言葉や笑顔から、多くの大切なものを貰った気がしました。奉仕とは与えるものではなく、双方向のものであるということを深く認

識しました。50周年を迎えるにあたり、我が茨木RCのあり方を再認識できたと思っています。

現地のマスコミも取材に来られ、各地の新聞やテレビに取り上げられました。そのことにより、多くの方々にロータリーの奉仕の精神が伝わったと思います。

最後のバリでのコンサートの後、パーティーが開かれ、RI第3400地区トーマスガバナー、パストガバナー、姉妹クラブである台北西北RCメンバー、インドネシアRCメンバーと友好を深め、インドネシア記念事業の幕を下ろしました。

